

苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 11 回 定例委員会
日時	平成24年9月27日 自 15時 至 16時5分
場所	苫小牧市役所第2庁舎2階会議室
出席委員	委員長 上原 毅 委員 佐藤 郁子 委員 鈴木 正樹 委員 佐藤 守 委員 山田 眞久
欠席委員	
会議録署名委員	佐藤 郁子 委員
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 田中 亮太
事務局職員	学校教育部長 斉 藤 章 吾 スポーツ生涯学習部長 生 水 賢 一 学校教育部次長 澤 口 良 彦 スポーツ生涯学習部次長 木 戸 克 史 総務企画課長 戸 村 真 規 総務企画課総務係長 三 橋 大 輔 総務企画課総務係主事 田 中 亮 太
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（上原委員長） … 15時
2	会議録署名委員の指名（佐藤郁子委員）
3	会議録の承認
	（上原委員長） 第10回定例教育委員会（平成24年8月27日開催）の会議録について、何か質問はないか。
	（一同「なし。」の声）
	－会議録どおり承認－
4	教育長の報告
	つい先週まで厳しい残暑が続いたが、こうした中、中学校では学校祭シーズンを迎え、小学校も修学旅行が一段落し、学芸会に向けての準備が始まっている。
	それでは、先月8月27日の定例教育委員会以降の出来事を振り返って御報告する。まず、1日に「しおさいコンサート」があった。北海道新聞社、苫小牧民報社、そして苫小牧市が共催し、子どもたちに札幌交響楽団の生演奏を鑑賞してもらう音楽教室であった。今年も大変好評で、マナーの説明もあり、子どもたちには大変勉強になったと思う。次に6日から14日まで第7回定例会が開催された。16日は発明工夫展・理科展の表彰式があった。18日と20日には中野と沼ノ端のドライビングスクールから交通遺児育英会へ寄附があった。21日は若草小学校と明野小学校で公開研究会、23日はマクドナルド杯争奪オータム・チャレンジカップが開かれてレッドス

<p>ターズが優勝した。また、先に諮問していた「第4次生涯学習振興計画」の答申を奥田社会教育委員会議委員長から24日に受けたので、今後具体化に向けて協議を進めていく。併せて9月26日、文科省の担当者が来庁し、市長を含め私どもに積極的な耐震化の対応をするよう要望があった。この間8月31日だが、管内教育長会議があり、その中で25年度人事異動の方針、時間外勤務縮減の取組、教職員給与費の適正な執行、学力向上などの課題について意見交換がなされている。</p>
<p>今月はこの後29日に明德小学校の開校30周年記念式典、10月に入ると23年度の決算委員会、そして新しい教育委員さんの任命と続く。</p>
<p>それでは、議会報告をする（以下議会における質疑等の報告）。</p>
<p>本日はこの後、市長との意見交流を行うので、よろしく願い申し上げます。</p>
<p>最後に、既に議会決定しているが、今定例会議をもって私と鈴木委員が任期満了となるので、これまでの御厚情に感謝する。</p>
<p>(上原委員長) 何か御質問等はあるか。</p>
<p>(一同「なし。」の声)</p>
<p>5 議 案</p>
<p>第1号 平成24年度苫小牧市文化賞・文化奨励賞の選考について</p>
<p>第2号 教育委員会職員の処分について（決定）</p>
<p>第3号 教育委員会職員の人事について</p>
<p>(上原委員長) 議案の第1～3号については、いずれも人事案件であるので、会議規則第21条の規定により秘密会とするが、よろしいか。</p>

(一同「はい。」の声)

—原案どおり決定—

6 協 議

第1号 苫小牧市立はなぞの幼稚園のあり方について

(学校教育部長) 冒頭教育長のからも御報告があったが、あり方については7月の委員会の中で「案」をつけた形でお示ししていた。その後、住民説明会、保護者説明会、パブリックコメントを経て、今回お配りしている資料は「案」を取ったものになる。内容的には変えていない。したがって結論としては、26年3月をもってはなぞの幼稚園を廃園するという考え方で変わっていない。来年度の4歳児の募集を行わないという方針である。それからパブリックコメントの結果についても、8月の委員会の中で御意見として出ているものについてだけお示したが、それに教育委員会の考え方を付して再度提出している。128件のパブリックコメントがあったが、同じような内容のものはまとめて記載している。大きく分けて1～7番までに区分けしているが、ほぼ100%が存続の御意見であった。考え方については変わらないが、色々な御意見があった中、今後はなぞの幼稚園がなくなるということで教育委員会として私立のほうに幼児教育を移行していかなければならないうえで、参考になる御意見が多々あった。それを参考に、私立幼稚園に対しては、はなぞの幼稚園での市民サービスを低下させないような形で働きかけていきたいと思っている。それから前後になるが、今回の文教経済委員会で存続の陳情が2件あったけれども、最終的には採決になり、文経の中では賛成少数、それから本会議では賛成多数でもって、議会的に存廃については廃止の方向で決定しているという判断だ。それを踏まえ、今回教育委員会として最

<p>終決定をしていきたいということである。廃止に向けての議案については、2月の定例議会の中で提出したいと思う。</p>
<p>(上原委員長) 質疑に付す。</p>
<p>(佐藤守委員) 資料の結論にも書いているが、今後十分なケア、そして私立幼稚園への移行に関してあまり負担の掛からないような形でということ、具体的なことについてはいつ頃示せそうか。</p>
<p>(学校教育部長) 特に障がいの疑われる幼児については、既に9月から始まっているが、保健福祉部所管の心身障害者福祉センター「おおぞら園」で、市内の幼稚園・保育園その他就学前のお子さんを預かっている施設について、訪問してケースを聞き取ったうえでケアしていくという取組を実施している。はなぞの幼稚園の特長の1つであった障がい児の受入れのアフターケアについても、形ができ上がっているのが1つ、それから10月以降に私立幼稚園の団体と協議させていただくが、連携については協力していくという考えが示されているので、廃園までの1年半の中で十分に詰めていきたいと考えている。</p>
<p>(上原委員長) 私のほうから1点質問する。先月の委員会の中で教育長から発言があった署名の扱いの問題である。実際には教育委員会が所管しているが、署名は市長に提出された。委員会としてどんな対応になるのかを、教育長は「市長サイドと相談しなければならない。」と言っていたので、対応について教えていただきたい。</p>
<p>(学校教育部長) 署名を受けた中で、私どもも理事者である市長・副市長を交え、市及び教育委員会の最終判断としてこの方向で行くという判断をしている。</p>
<p>(佐藤守委員) 今、保育園と幼稚園の一体化という形で国が迷走しているが、苫小牧市の方向としては、何かお考えがあるのか。</p>
<p>(学校教育部次長) こども園の取扱いだが、文部科学省と厚生労働省で保育園と幼稚園の管轄が違うものであるから、総務省のほうでこども園の構想を進めているところだ。公立になると、ガイドラインがきちんと出てこない限りは、公立として持つわけにはいかないというふうを考える。ただ、私立の幼稚園が保育時間を長くするような</p>

<p>形でこども園に移行していただくか、民間の保育園が幼稚園の機能を取り入れて幼児教育を充実させ、こども園に向かっていくという方法であれば、今すぐにでも可能だとは思うが、なかなか公立ということになると、その部分をクリアしていかなければならないと考える。</p>
<p>(上原委員長) 他に質問はないか。ないようなので、質疑を終了する。その他、委員で協議事項をお持ちの方はいるか。</p>
<p>(一同「なし。」の声)</p>
<p>7 そ の 他</p>
<p>(1) 学校給食費の改定について</p>
<p>(学校教育部長) 本市の学校給食費については、苫小牧市学校給食会の適正な業務運営に関する要綱及び苫小牧市学校給食会会則に基づいて、理事会において給食費を決定している。来月の16日に開催される学校給食会の臨時理事会において、学校給食費の改定を議題とし、その内容について説明させていただく(以下「学校給食費の改定について」に基づき説明)。</p>
<p>(上原委員長) 質疑に付す。</p>
<p>(佐藤守委員) 値上げする金額というのはこれから検討されるかと思うが、「叩き台としてこのくらいになる。」というのを持っているか。値上げすることによって予想される給食費の滞納対策について考えられているのかお訊きしたい。</p>
<p>(学校教育部長) 検討会の中でお示ししたいと考えている。まず、喫食日数が現在年間195日の基準があるが、これを何日にするかということもあり、食材の値上げの幅等もあるが、例えば、検討会の中で消費税の値上げについてどう見るかということ</p>

<p>もあるので、この場ではお示しできないことを御理解いただきたい。それから収納率</p>
<p>アップの方策だが、実は、今年の4月から収納職員のOBを嘱託職員として配属する</p>
<p>ことを考えていたが、3月ギリギリになってその手当ができなくなったことから、現</p>
<p>在人事当局と、来年の4月に向けて間違いなく人員配置することで確認している。督</p>
<p>促については例年どおりであるが、専任の嘱託職員を1人付けることになる。</p>
<p>(上原委員長) 給食費検討委員会のメンバーだが、理事会の中のメンバーになるのか、</p>
<p>それとも広く検討するために例えば公募を取り入れるのか。参考として収納率と未納</p>
<p>額、欠損額を教えてください。</p>
<p>(学校教育部長) まず検討委員会の構成メンバーだが、理事会の中に専門部会という</p>
<p>のがいくつかあり、その中からの選任になる。あくまでも任意の団体なので、全く関</p>
<p>係のない方を入れるというのはそぐわないかと思う。</p>
<p>(山田教育長) 大体、理事会で構成されているのは学校の代表だから、校長先生、そ</p>
<p>れとPTA代表である。この両方で構成されている。実際にお金を払っている親と学</p>
<p>校との関係だが、学校は増やしてほしい。親のほうとしてはなるべく安いほうがいい。</p>
<p>けれども、子どもの声を聴くと、もっと充実した給食にしてほしいというのものもあるか</p>
<p>ら、大方の方々は値上げを望んでいる。ただ、未納者がいるのではないかという問題</p>
<p>がじっくりしないのがあるから、今まではずっと解決しようとしながらきているが、</p>
<p>厳しい状況だ。</p>
<p>(鈴木委員) 未納者というのは、金額を上げようが下げようがそういう問題ではなく、</p>
<p>別に考えなければダメだと思う。</p>
<p>(佐藤郁子委員) 振込にしたら未納が少なくなるというって、増えたというのは苦小牧</p>
<p>だけだ。</p>
<p>(学校教育部長) 金額についてだが、23年度決算でいうと、収納不能欠損が20、</p>
<p>792千円。それから、収入未済額が46,342千円である。収納率の表が手元になく、</p>
<p>担当者もいないが、確か96%程度だと思う。</p>
<p>(山田教育長) 翌年度に、前年度の未納分を一生懸命回収する。</p>

(佐藤守委員)	100%になったら値上げしなくてもいいのではないかな。そういうことにはならないのか。
(学校教育部長)	総額で7億1千万くらいだ。
(上原委員長)	給食費改定の時に必ず出てくるのが、この問題だ。
(学校教育部長)	収納率が低いのに上げるのかとか、100%もらったらいいのではないかな等あるが、今考えているのは100%になっても食材の値上がりのほうが上回っている。
(佐藤郁子委員)	給食の献立のことだが、他の市町村と比べて外から苫小牧に入ってきた人から見ると、あまり良くないという話を聞くが、改定して値上がりすると、満足とは行かないまでも、向上するのか。
(学校教育部長)	十分考えられる。今言われているのが「器が大きくなった分、それが目立つ。」ということだ。フルにとは言わないが、デザートやその辺りの要望もかなり多いから、意識しながら決めたいと思っている。
(上原委員長)	それでは、質疑を終結する。
	委員会閉会の宣言の前に、今定例会で最終ということで、退任される委員から一言ずついただきたいと思う。
(山田教育長)	8年間という長きにわたりまして、皆さん方には大変お世話になりましたし、私自身教育行政に関わりまして、学校現場と違って市役所側から見たときに、色々な対応が考えられるのだということを感じました。学校現場で我々が考えるのは、学校施設などの様々な条件整備をしていただくのが教育委員会の仕事だと思いましたが、現実には、財政の問題があったり、なかなか踏み込めない現実というものがありました。「経済の閉塞する悪い時期であったかな。」とも思います。しかしそうはいながらも、様々な学校もできましたし、施設改修もありました。それなりに子どもたちの教育の充実のために果たせたかと思えます。幸い、学校のほうの課題というのが前のような生徒指導上の困難を抱える学校はかなり減りまして、学力を向上させる

<p>ために各学校は真剣に取り組んでいるという良い方向に動いておりますので、これからまた新しい教育長さんに頑張ってくださいと思います。皆さん、どうもありがとうございました。</p>
<p>(鈴木委員) 長い間、本当にお世話になりました。私も教育長と同じく、2期8年間の任期でした。10月4日で終わるのですが、教育に関して全くの素人で、委員という大職を仰せつかったわけですが、私は教育部門の皆さんの考え方とスポーツの考え方に非常にギャップがありまして、当初は自分なりに苦しんだ面もありました。他の委員さんや教育委員会の部長さん方に御指導いただき、「なるほど、そうなのか。」という部分や、生意気に意見を言わせていただきましたけれども、教育委員会というのはこんなにも色んな問題があるのかというのが実感です。佐藤郁子委員さんと同じ日に委員になりましたが、振り返ってみると、申し訳ないですが第1回の定例委員会とは一体何の会議なのかという印象でした。「せつかく月に1度あるものなのだから、委員と教育委員会の皆さんと本音でぶつからなければ解決しないな。」と思いましたが、8年間勉強させていただきましたし、御迷惑もお掛けしました。これからますます苦小牧市の教育委員会が発展することを祈念いたしまして、御挨拶に代えさせていただきます。本当に長い間、ありがとうございました。</p>
<p>8 委員会閉会の宣言（上原委員長） …16時5分</p>
<p> </p>
<p> </p>
<p> </p>
<p> </p>
<p> </p>
<p> </p>
<p> </p>
<p> </p>